

4月13日：不動産株への買いは下値を支えたが、ベトナム株は反落

多くの銘柄に利益確定売りが再び出たことから、ベトナム株は小反落となった。

ホーチミン市場のVN指数は0.33%（4.12ポイント）安の1,248.33ポイントだった。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、312銘柄が下落、113銘柄が上昇、出来高は前日比で増加した。国内勢は23兆4,700億ドンを買い入れ、売買高は約10億3,000万株になった。

バオベト証券のアナリスト達は、マーケットの強気トレンドに関して引き続き楽観的である。

「VN指数は上昇を続け、短期的に1,275～1,300ポイントの上値抵抗線を目指すと予想される」（バオベト証券の株式シニアアナリスト、Tran Xuan Bach氏）

「銘柄によってまちまちの展開となり、次の高値に向かい抵抗性に近づくにつれて荒い値動きや調整に見舞われるでしょう」（同氏）

「この間、国内勢の投資資金は依然としてマーケットの主なけん引役である。大型株、特に業界をリードする企業の株式はマーケットを支え、上昇と下落を繰り返しながら上昇するだろう」（同氏）

VN30指数も0.07%安の1,277.35ポイントと売られた。

同指数の組入銘柄のうち、7銘柄が上昇、20銘柄が下落。残りの3銘柄は変わらずだった。

銀行、素材、公益、情報技術、輸送、運輸といったほとんどのセクターの大型株は振るわなかった。

そのうちマーケットの上昇に重しとなった上位5銘柄は、銀行3銘柄、素材1銘柄、公益1銘柄だった。

銘柄の内訳としてはベトコムバンク（VCB）、ベトナム投資開発銀行（BID）ヴィエティンバンク（CTG）、ホアファットグループ（HPG）、ペトロベトナムガス（GAS）だった。

しかし、不動産、建設株によってマーケットは下げ幅を縮めた。ビンググループ (VIC) は 6.59%高と最も大きく上昇した。

ハノイ市場では、HNX 指数が 1.13%安の 292.19 ポイント。同指数は大型株によって構成されており、大型株上位 30 銘柄に連動する HNX30 指数は 2.26%安の 441.71 ポイントだった。

売買高は約 2 億 3,260 万株、売買代金は 40 億 3,000 万ドンを超えた。

外国人投資家は両市場で買い越しに転じ、ホーチミン市場では 1,267 億 9,000 万株、ハノイ市場では 592 億 6,000 万株だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。